

TECHNICAL REPORT -05

インターロッキングのユニバーサルデザインプラン

その3 視覚障害者の誘導と景観性(対策編)

1. はじめに

視覚障害者誘導用平板(イエロー)を使用した場合、輝度比 1.5~2.5 の範囲のインターロッキングブロックは、全体の 51%であることは紹介した通りである。ここでは、残り 49%のインターロッキングブロックの対応プラン例とそのバックデータを紹介する。

2. 輝度比 2.0 程度を満足させるプラン例

イエロー系(例として透水性インター0r-1 とする)のインターロッキングブロックを周辺舗装とした場合、視覚障害者誘導用平板(イエロー)では色みが近く輝度比も小さくなってしまう(図.1・図.2 参照)。その対応プラン例は、以下の 3 つが考えられる。



図.1 イメージパース

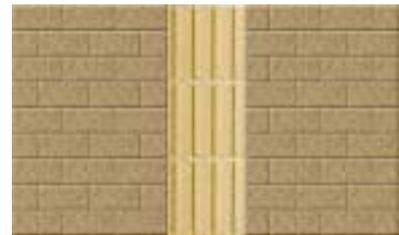
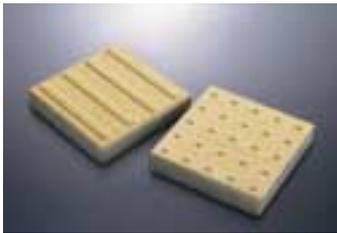


図.2 輝度比 1.1

① 視覚障害者誘導用ブロック沿いに輝度比を満たすブロックを配置



ノーマルインターSv-2 を視覚障害者誘導用ブロックに沿って両側に敷設すると、隣接するブロックとの輝度比は 2.1 となる(図.3 参照)。

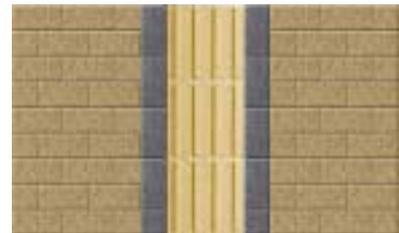
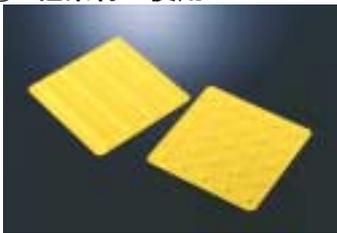


図.3 輝度比 2.1

② 他素材の使用



同じ色の系統だが、佐渡島金属視覚障害者誘導用タイル N 型は合成ゴム製品なのでより高い輝度を確保することができる。Or-1 との輝度比は 1.8 である(図.4 参照)。

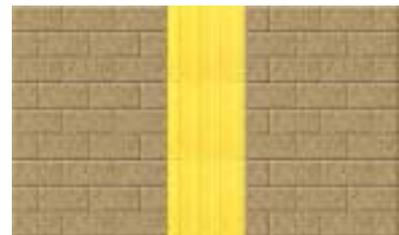


図.4 輝度比 1.8

③ 黄色以外の視覚障害者誘導用ブロックの使用⁽¹⁾

ソーセキ社製視覚障害者誘導用平板(グレー)を使用すると、Or-1 との輝度比は 4.1 となる(図.5 参照)。ここでは 2.0 程度を超えるが、適用可能なカラーも多い(次項参照)。

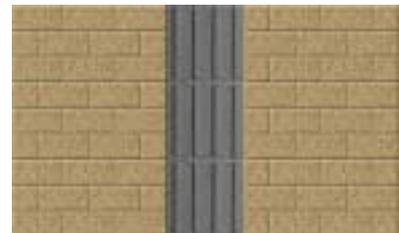


図.5 輝度比 4.1

注⁽¹⁾ 条例等では移動円滑化整備ガイドラインとは異なる記載がされているものがあるので注意が必要である。特に、輝度比の範囲が異なっていたり、黄色以外の視覚障害者誘導用ブロックを認めていないケースもある。(添付資料参照)

3. 視覚障害者誘導用ブロック(3種類)とインターロッキングブロック(周辺舗装)の輝度比バックデータ

表.1にインターロッキングブロックと視覚障害者誘導用ブロックの輝度比を示す。

表.1 視覚障害者誘導用ブロック(3種類)とインターロッキングブロックとの輝度比

カラー	誘導平板 (イエロー)	誘導用タイル (合成ゴム)	誘導平板 (グレー)	
ノーマル インター	Or-1	2.1	※3.5	
	Or-2	2.6	※2.9	
	Or-3	3.2	※2.3	
	Sp-1	1.8	※4.1	
	Sp-2	4.3	※1.7	
	Sp-3	5.6	※1.3	
	Ro-1	2.1	※3.5	
	Ro-2	3.8	※1.9	
	Ro-3	4.8	※1.5	
	Sv-1	※1.1	1.6	※4.7
	Sv-2	2.1	3.5	※2.1
	Sv-3	3.8	6.5	※1.1
	Gr-1	1.0	1.8	※4.1
	Gr-2	2.2	3.8	※2.0
	Gr-3	2.6	4.5	※1.6
シヨット インター	Or-1	2.0	※3.6	
	Or-2	2.4	※3.1	
	Or-3	2.6	※2.8	
	Sp-1	1.9	※3.9	
	Sp-2	3.2	※2.3	
	Sp-3	3.3	※2.2	
	Ro-1	2.0	※3.6	
	Ro-2	2.9	※2.5	
	Ro-3	3.4	※2.2	
	Sv-1	※1.1	1.6	※4.5
	Sv-2	1.7	3.0	※2.5
	Sv-3	2.5	4.3	※1.7
	Gr-1	1.0	1.8	※4.1
	Gr-2	1.8	3.0	※2.4
	Gr-3	2.0	3.5	※2.1
クリスタル インター	ペーシユ	2.7	※2.7	
	ブラウン	3.8	※1.9	
	ピンク	2.6	※2.8	
	チェリー	3.2	※2.3	
	ホワイト	※1.2	1.4	※5.3
	クールグレー	1.7	3.0	※2.5
	ブラック	4.6	※1.6	
透水性 インター	Or-1	1.8	※4.1	
	Or-2	2.2	※3.4	
	Or-3	3.2	※2.3	
	Sp-1	2.6	※2.8	
	Sp-2	3.8	※1.9	
	Sp-3	5.6	※1.3	
	Ro-1	1.9	※3.9	
	Ro-2	3.9	※1.9	
	Ro-3	5.6	※1.3	
	Sv-1	※1.4	1.3	※5.8
	Sv-2	1.7	2.9	※2.5
	Sv-3	3.6	6.2	※1.2
	Gr-1	※1.1	1.6	※4.5
	Gr-2	2.3	4.0	※1.8
	Gr-3	3.0	5.2	※1.4
保水性 インター	Or-1	1.8	※4.1	
	Or-2	2.3	※3.3	
	Or-3	3.1	※2.4	
	Sp-1	2.6	※2.8	
	Sp-2	3.8	※1.9	
	Sp-3	5.6	※1.3	
	Ro-1	1.9	※3.9	
	Ro-2	3.9	※1.9	
	Ro-3	5.6	※1.3	
	Sv-1	1.3	※5.8	
EPS	アクアブルー	2.0	※3.8	
	ビーコックブルー	2.5	※2.9	
	インディゴブルー	4.0	※1.8	
	ブラウン	3.1	※2.4	
	ハープル	3.7	※2.0	
	グレー	3.3	※2.2	

注 上記の値は測定例であり、保証値、管理値ではない。また、※は逆数で表している。

誘導平板(イエロー): 視覚障害者誘導用平板(イエロー)

誘導用タイル(合成ゴム): 佐渡島金属社製、視覚障害者誘導用タイルN型

誘導平板(グレー): 視覚障害者誘導用平板(グレー)

4. まとめ

周囲舗装がどんな色彩であろうと、輝度比 2.0 程度確保する対策は可能であり、そのプランは複数から選択できる。ただし、プランの選択は、「道路の移動円滑化整備ガイドライン」に示されるように、沿道住民・利用者の意見が反映されるよう留意して決定する必要がある。

以上

* 本テクニカルレポートの色調は、条件により実際の色と多少異なります。